

すべては秋の勝利のために 苗作りのルーティンワーク!



農林水産省登録 粉剤:第10760号
液剤:第10331号

殺菌剤分類 32

タチガレン[®] 粉剤・液剤

ヒドロキシイソキサゾール粉剤・液剤

タチガレン[®] 粉剤

は種前
育苗箱土壤に混和

1kg入 パック	=		125 枚分 ^{※1}
3kg入 パック	=		375 枚分 ^{※1}

※1) 育苗箱1箱(土・約5L)あたり8g使用した場合

タチガレン[®] 液剤

は種時または発芽後
土壤灌注

100ml ボトル	=		100 枚分 ^{※2}
500ml ボトル	=		500 枚分 ^{※2}

※2 【上手な使い方】 苗箱1枚あたり、タチガレン液剤1ml分が灌注されるように使用。
例) 500倍で使用する場合は500mlの薬液を灌注。1000倍で使用する場合は1000mlの薬液を灌注。

無処理

処理



第2葉鞘
の高さに
注目!

根が増え、
太くなり
ます!



農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に記載された農薬です。



三井化学アグロ株式会社

タチガレンは三井化学アグロ(株)の登録商標です

● 苗立枯病に対して、優れた効果があります。

● ムレ苗防止にも有効です。

● 根の生育促進効果で、根量が増え、根毛がびっしり生えます。

● 移植時の発根、活着促進に優れています。

● 冠水や水ストレス、また除草剤による薬害の影響を受けにくくなります。

2019年10月9日現在

タチガレン粉剤

農林水産省登録 第10760号
ヒドロキシシソキサゾール…4.0%
毒性：普通物*

3kg入



1kg入

● 右記は稲の登録のみを抜粋しています。稲以外にも、てんさい、すいか、ほうれんそう、たばこに適用があります。

2019年10月5日現在

作物名	適用病害名 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシシソキサゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	根の生育促進 移植時の発根及び活着促進 ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り4～8g	は種前	1回	育苗箱土壌に均一に混和する。	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)
	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌)	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り3～6g				
稲 (畑苗代)	根の生育促進 移植時の発根及び活着促進 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌)	50～100g/m ²			深さ5～10cmの苗代土壌に均一に混和する。	
稲 (折衷苗代)	苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ビシウム菌)					
稲 (湛水直播)	根の生育促進による苗立の安定	乾粕重量の3%			過酸化カルシウム剤に添加して種子に湿粉衣する。	1回

注意事項

- 本剤を土壌混和する場合はなるべく播種前に行ってください。
- 稲に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 苗立枯病防除及び根の生育、発根促進に使用する場合、使用量が多すぎると逆に初期生育が一時抑制される場合があるので、使用量を誤らないように注意してください。
 - ② 本剤の僅きも播種時の施用は苗立枯病の防除と同時に苗の根の生育を促進し、間接的に健全な苗の育成を目的として使用してください。また移植時期の温度が低い場合等には発根、活着促進に効果があります。
 - ③ ムレ苗防止に使用する場合、本剤は育苗中の低温による根の吸水低下や高温による蒸散増加など、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムレ苗 (生理的な急性萎凋障害) に対して有効であるので、このようなムレ苗の発生する地域で使用してください。

- ④ 育苗期間が長くなると (たとえば中育苗) 効果が低下するので、この場合には移植前に処理する活着促進に有効な薬剤との組み合わせで使用してください。
- ⑤ 過酸化カルシウム剤に添加して使用する場合は、十分混合して種粒に湿粉衣してください。また、過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を厳守してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 使用の際は農薬用マスク、不透過性手袋などを着用してください。
- 作業後はうがいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。



2019年10月9日現在

タチガレン液剤

農林水産省登録 第10331号
ヒドロキシシソキサゾール…30.0%
毒性：普通物*

500ml



100ml

● 右記は稲の登録のみを抜粋しています。稲以外にも、キャベツ、レタス、すいか、きゅうり、メロン、ほうれんそう、オクラ、さやいんげん、さやえんどう、実えんどう、未成熟そらまめ、てんさい、みずな、みぶな、みつば、いちご、たばこ、カーネーション、アイリス、きく、林木 (苗木)、西洋芝 (ペントグラス) に適用があります。

2019年10月9日現在

作物名	適用病害名 使用目的	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ヒドロキシシソキサゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(ビシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根及び活着促進 ムレ苗防止	500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り500mℓ	は種時及び 発芽後	2回以内	土壌灌注	3回以内 (移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注は2回以内)
	ごま葉枯病	500倍		は種時	1回		
	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(ビシウム菌) 根の生育促進 移植時の発根及び活着促進 ムレ苗防止	1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り1ℓ	は種時及び 発芽後	2回以内		
	ごま葉枯病			は種時	1回		
	稲 (折衷苗代)	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(ビシウム菌)	500倍	1ℓ/㎡	は種直後及び 発芽後		
稲 (畑苗代)	苗立枯病(フザリウム菌) 苗立枯病(ビシウム菌)	1000倍	3ℓ/㎡	は種直後	1回		
	根の生育促進 移植時の発根及び活着促進			は種直後	1回		

注意事項

- 使用量が多すぎたり濃度が高すぎた時、場合によっては初期生育が一時抑制されることがあるので、濃度や使用量を誤らないように注意してください。
- 稲に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 育苗中の苗立枯病のまん延防止には発芽期以降に追加灌注してください。
 - ② ムレ苗防止に使用する場合、本剤は育苗中の低温による根の吸水低下や高温による蒸散増加など、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムレ苗 (生理的な急性萎凋障害) に対して有効であるので、このようなムレ苗の発生する地域で使用してください。
 - 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- 本剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、薬液調製時および使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して、薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後 (少なくとも使用当日) に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記載しましょう。

※本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

※本印刷物は2019年10月9日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>